



輝き人生

このコーナーではきりと
輝きながら活躍する市民を
紹介します。

不屈の決意と 感謝の思いを胸に プロ野球の世界へ挑戦！

まえ ゆい と
前 佑 斗 さん (山下町)



甲子園で投球する前さん

「小さい頃からの夢が実現して本当にうれしいです。支えてくれた家族、先生、仲間感謝したいです」と話してくれるのは、今年10月のプロ野球ドラフト会議でオリックス・バファローズに4位指名され、入団を表明した前 佑斗さん。在学中の津田学園高校の野球部では、エース(主力投手)として、春・夏の甲子園(選抜高校野球大会[2年生時]、全国高校野球選手権大会[3年生時])に出場。また、その後は18歳以下の野球ワールドカップ日本代表選手に選出され、世界の強豪国相手に要所を締めるピッチングでチームに貢献しました。そして、来春の高校卒業後にはプロ野球選手としてスタートする前さん、「必ず活躍する!」という強い決意を持って、厳しい勝負の世界での挑戦が始まります。

ー中学生まではどのように野球を?

「小学生時は軟式少年野球チーム『関パワーキッズ』、中学生時は硬式野球チーム『津ボーイズ』に所属し、チームでの練習や試合、それ以外に

自宅での自主練習と、野球に明け暮れる毎日でした。練習も厳しく大変でしたが、それでも日々のなかで野球の楽しさ、チームプレーの大切さ、礼儀礼節を学ぶこともでき、野球選手としての基礎を築く大切な時間を亀山で過ごすことができました。」

ー甲子園(高校生時に出場)の感想は?

「厳しい練習を乗り越えた仲間と夢の舞台『甲子園』でプレーできたときは、何ものにも代えがたい充実感でいっぱいでした。また一方で、全国には能力の高い素晴らしい選手が数多くいることがわかり、自分も負けられないと気持ちが奮い立つ機会にもなりました。」

ープロ野球選手になれた感想は?

「『将来の夢はプロ野球選手』と言うと笑われたり、大事な試合で悔しい負け方をして挫折感を味わったりもしましたが、それでも夢をあきらめず、プロ野球選手になれたことは本当にうれしいです。また、家族、先生、仲間の支えにより、自分がここまで成長できたことに、本当に感謝しています。なかでも兄については、私が中学生までは

喧嘩ばかりでしたが、それでも私の夢を必ず実現させようと高校進路に関して助言をくれたり、また野球について事あるごとに相談に乗ってくれたりしました。そのことが私の夢の実現へとつながっており、今では兄が私の一番の理解者と言える存在です。」



お兄さん(左)と前さん(右)

ーこれからは?

「しっかり練習に取り組み、ファーム(ウエスタン・リーグ)で良い成績を残し昇格して、1軍のピッチャーマウンドに立ちたいと考えます。そして、いずれはオリックス・バファローズを代表する投手になりたいです。また一方で、プロ野球選手を目指す子どもたちの手本となれるよう、人間性が高い選手にもなりたいと思います。そのためにも、礼節を重んじるとともにひたむきに野球に打ち込み、しっかりと試合で結果を残していきたいと考えます。」

亀山からプロ野球選手が誕生!

～オリックス・バファローズに入団表明の前投手が櫻井亀山市長を訪問～

今年10月のプロ野球ドラフト会議で、オリックス・バファローズに4位指名され、入団を表明した前 佑斗さん(ポジションは投手)が11月15日に櫻井亀山市長を訪問しました(右写真)。

前投手は、「精一杯がんばります」と力強く意気込みを語ってくれました。櫻井亀山市長からは、「亀山市民として誇りに思い、これからの活躍を願っています。素晴らしい選手になってください」と激励のコメントが贈られました。来年2月からキャンプインして、プロ野球選手として第一歩を迎える前投手、今後の活躍が期待されます。

【前投手のプロフィール】

身長182cm、体重88kg、右投右打、神辺小学校・亀山中学校出身
持ち味は伸びのある最速152kmのストレート・キレのあるスライダー

